

安全だより

第 50 号

◆発行
令和 3 年 6 月 18 日



公益社団法人
下松市シルバー人材センター
安全委員会

全国統一安全スローガン いつまでも 働く喜び 無事故から

《安全》と《安心》



安全とは一般に「危険のない状態」と定義付けされています。

人が活動する、或いは、目標・物事を達成するには、常に危険と背中合わせ

でルール・規則を遵守する事により守られ、その結果として目的を達成しています。

安全を辞書で引用すると「危険がなく安心な事」とあり、安心とは気にかかる事がなく心が落ち着いているとあります。安全の反対語は危険ですが、仮に「安全は危険が全くない事」とするならば、現実的にはあり得ない事です。多少の危険はあるが許される範囲内にある場合に安全と言われます。また、時間の経過、環境の変化、人や機械が動く場合においても安全の度合いは変化して行きます。安全にはいつも危険は潜んでいるものであり、この事を念頭に置いて行動することにより、人は平穏無事な日々が送れています。

みなさんも日常生活、仕事などで行動する際には、危険予知をイメージし、心にゆとりをもって物事に臨めば、楽しく安全に満足する成果が得られるのではないのでしょうか？



★ 教育と教養

私たち高齢者には！！きょういくときょうよう！！

が必要なことらしいですね。体力も弱り
ややもするとだらだらと過ごしがちにな
ってしまいます。なにをするにも
適度の緊張感が必要ですね。

知識も経験も豊富なあなた

今日もシルバーに行くのです、そして今日の用事をするのです。適度な緊張感を持って体を動かし、安全で、健康で明るく楽しい1日を送りたいものですね。

ゴッホのひまわり…
みんなちがって、
みんな…
ベートーベン
交響曲第9番…



●段取八分仕事二分！

皆様この言葉を聞いたことがあると思います。

事前準備・作業手順等をきちんと計画されることで物事の8割が終わり後の2割は手順計画に従い自動的に完遂でき、更に仕事の質もアップするということです。

段取である事前準備・作業手順をきちんと計画することで心にも余裕が生まれ視野が広くなり仕事全体も理解できます。仕事の2割でおきるトラブル対応も臨機応変の対応が可能となります。

少しの時間で良いので明日の就業を考え準備することで安全に対する感受性を高め、安全就業に努めましょう。



◆令和2年度事故(傷害・物損)の状況◆

「安全に！」



◆傷害事故

事故発生日	事故状況等
令和3年3月8日	公園の除草作業中に法面で足を滑らせて転倒、左大腿部を打撲（入院加療後退院）
令和3年3月24日	就業後、バイクで帰宅中に上り坂のカーブに差し掛かった際、車輪が滑って転倒、投げ出され、全身打撲
令和3年3月26日	派遣作業で、コンクリートブロックを梱包しているPPバンドをカッターナイフで切断する際、手を滑らせて左手人差し指と親指を切傷

◆物損事故

事故発生日	事故状況等
令和2年5月18日	一般家庭の宅地を草刈作業中、刈払機の刃が水道管（ゴム製）に接触、切断破損させた
令和2年8月3日	公共施設内の敷地を草刈作業中、刈払機の刃が配水管に接触、切断破損させた
令和2年8月25日	民間事業所内の敷地を草刈作業中、刈払機の刃が散水用ホース（ビニール製）に接触、切断破損させた